



令和6年4月15日 第880号

一般財団法人日本遺族会 東京都千代田区九段南一丁目九段九段ビル 電話 03-3261-5521 03-3261-25389 0160-6-625389 毎月1回15日発行 毎月1日130円(税込) 定価

日本遺族会は国の礎となられた英霊顕彰をはじめ、戦没者の遺族の福祉の増進、慰藉救済の道を開きと共に、道義の昂揚、品性の涵養に努め、世界の恒久平和の確立に寄与することを目的とする。

画の核心に当たる特別甲慰金の継続と、令和6年度新規事業の「平和の語り部」事業の必要性などを説明し、早期の予算成立を陳情していた。

戦後80年となる令和7年度に向け本会は平和を希求する団体の自負を持ち、一層活動に努めなければならない。

声なき声 年度末も押し迫った3月25日から、サイパン島に設置した破壊記念碑を埋設する埋設記念碑の完成に伴う慰霊祭と、それに伴う現地関係者へのお礼に当たって、サイパン島は第一次大戦後、日本の委任統治領となり、南洋興發等の企業が進出し、現地住民と日本人は良好な関係で平和に暮らしていた。しかし昭和18年、ソロモン諸島、東部ニューギニア戦線の急迫により、米軍がサイパン島に襲いかかり、日本軍は後退を余儀なくされ、昭和19年7月7日午前3時を期し最後の総攻撃を敢行し、玉砕に至った。兵士だけでなく、多くの民間人も亡くなった。

# 令和6年度予算 「平和の語り部」事業化決定 水落会長、二之湯理事が陳情

3月28日、一般会計総額が112兆5717億円の令和6年度政府予算は参議院本会議で可決、成立した。社会保障費や防衛費は過去最大を更新し、5年度当初の約114兆円に次ぐ過去2番目の規模となる。能登半島地震の復旧・復興財源を含め、厳しい予算の中で「平和の語り部」を含む本会の要望は概ね認められた。

令和6年度政府予算案は、自民党が政治不信を招いた事態の説明等に対し、野党からの政権批判が相次ぎ、予算審議は難航した。しかし、与党は能登半島地震の復旧対応を含む予算の確実な成立を目指し、丁寧な説明に努め、3月28日成立した。本会関係では、平和の語り部の予算が確定し、いよいよ事業化となる。これに先立ち、財政状況を極めて厳しい中、遺族会の要望が反映されるよう、支部では会長をはじめ、支部が一丸となり地元選出国会議員に対し遺族の心情を訴え、陳情していた。

また、本部では、3月6日、水落敬栄会長、京都府遺族会会長二之湯智(元総務大臣)元参議院議員、本会理事が、大串正樹(衆議院議員)、自民党厚生労働部会長、新谷

大串正樹厚生労働部会長に陳情 = 3月6日、衆議院議員会館で

眞鍋賢二氏 日本遺族会元理事、香川県遺族連合会元会長。令和6年3月2日、逝去された。88歳。告別式、葬儀は近親者のみで行われた。喪主は長男健氏。

## 組織継承「語り部育成」

### 各地の取り組み紹介

各地域において組織継承の研修会が開催された。香川県 3月2日、役員・女性部・青年部合同研修会が県遺族会館で開催され、「戦後80年に向けた組織継承3カ年計画」(以後、継承計画)の研修のため、本部担当者が派遣された。香川県内では、各地域で語り部活動が行われており、三豊市、普通市では、市内の小中学校で修学旅行の事前学習を含

「語り部の会」を結成し、まずは、自身の体験談を思い出すための対話から、アンケート等を実施の上、自分史を作成。その過程で、「命は一枚の紙じゃ

靖国神社では、山口建史氏の退任に伴い、4月1日付で大塚海夫氏が第14代宣司に就任した。大塚氏は防衛省の情報本部長などを歴任した海上自衛隊の元海将で、退

靖国神社 みたままつり 献灯のご案内 靖国神社みたままつりが、7月13日から16日までの4日間賑々しく執り行われます。ご遺族・崇敬者の方々など、多くの皆様の献灯をお願いいたします。



業者没骨 没骨収集事業

ソロモン諸島へ派遣 ガダルカナル島から検体を送還

日本戦没者遺骨収集推進協会(推進協会)は、3月8日から21日の期間でピスマーク・ソロモン諸島第2次遺骨収集派遣を実施し、本会からは遺族2人が参加協力した。今回の派遣では過去に収容して現地協力者宅に仮安置されていた遺骨を鑑定し、51柱相当の遺骨の95検体を採取し、本邦へ送還した。



現地住民の協力を得て試掘する団員=3月16日、ガダルカナル島ムカア高地で

3月8日、派遣団員は、都内ホテルに集合し、新確認したうえで結団式を型コロナの抗原検査を実施した。9日に羽田空港を乗りこえ、ソロモン諸島へ派遣された。本会からは遺族2人が参加協力した。今回の派遣では過去に収容して現地協力者宅に仮安置されていた遺骨を鑑定し、51柱相当の遺骨の95検体を採取し、本邦へ送還した。

本派遣では、遺骨鑑定班と収容班に分かれてガ島内で活動した。遺骨鑑定班は、過去に収容された遺骨を丁寧に洗骨し、厚生労働省(以後厚労省)の遺骨鑑定専門員が鑑定した結果、41柱の遺骨が判定され、判定された遺骨から83の検体を採取した。また、バラバラの遺骨を採取した。また、バラバラの遺骨を採取した。また、バラバラの遺骨を採取した。

集骨調査 硫黄島、南方各地へ派遣

推進協会は、1月から3月にかけて海外4地域、国内硫黄島(別掲)に相次いで現地調査、フォローアップ調査団を派遣し、本会からもそれぞれ地域へ関係遺族等が参加協力した。

ヤカチ村での調査を実施した。日本側派遣団とインドネシア側の教育文化省職員とで日尼合同チームを編成し、西バブア州政府、マノクワリ県庁及びトウルク・ピント二県庁で事業を周知するとともに、ピント二からヤカチ村までボートで片道4時間をかけて赴き、現地住民に対し、残存遺骨に関する情報提供を呼びかけた。本会から本派遣に参加した兵庫県遺族会青年部員は、「平和の語り部」として、遺骨収集事業での自身の体験について積極的に講演活動を行っている。令和6年度の遺骨収集事業の参加者募集を各支部事務局で受け付けており、青年部世代がより多く参加し、同事業の意義を語り継いでいくことが期待される。



現地住民に事業を周知し遺骨情報の提供を呼びかける団員=3月2日、インドネシア・ヤカチ村で

サイパン島で慰霊碑を埋設

日本遺族会が厚生労働省から委託を受け実施している海外民間建立慰霊碑移設等事業で、3月24日にサイパン島に派遣し、スーサイド



埋設記念碑に献花し、戦没者の冥福を祈る高垣士事務所長=3月27日、サイパン島で

日から28日の期間で盛川英治事務局長他職員1人島に派遣し、スーサイドクリフに民間団体等が建立した慰霊碑を維持管理状況が「不良」と判定した破損慰霊碑を埋設し、埋設場所に記念碑を設置した。前日11月の派遣で、マツヒ山山頂にあるスーサイドクリフの「平和記念公園」内に、経年劣化、自然災害等で破損した慰霊碑及び台座19基の埋設と埋設記念碑の設置に関する計画を現地政府関係機関に説明し、北マリアナ歴史保存局(HIPCO)、環境省(BECC)、公有地管理局(DPL)、魚類野生生物局(FWS)、都市計画事務所(CZB)等の各関係機関から要求された埋設に必要な許可申請手続きを進め、昨年末にすべての機関から許可を取り付けることができた。その後、現地の建設業者が埋設作業を委託し、指定された場所への慰霊碑及び台座19基の埋設と埋設記念碑の設置を依頼していたが、今回の派遣で最終的に埋設が完了した。

令和5年度 日本戦没者遺骨収集推進協会主催 現地調査実施表

Table with 4 columns: 派遣名, 実施地域, 実施期間, 本会参加人数. It lists various survey missions across different regions like Mariana Islands, East New Guinea, and Indonesia.

<硫黄島 フォローアップ調査>

Table with 4 columns: 派遣名, 実施地域, 実施期間, 本会参加人数. It lists follow-up surveys conducted in the Iwo Jima area.

地方だより

- List of regional news items including: 兵庫県 2月18日 青年部主催第5回証言講演「戦争の記憶」語り部(75人); 宮城県 2月29日 宮城県市町村遺族会研修会①石巻・女川地区遺族会(34人); 香川県 3月2日 戦後80年に向けた組織継承5年計画研修会25人; 栃木県 3月3日 令和5年度栃木県遺族連合会女性部主催栃木県遺族連合会研修会160人; 山梨県 3月3日 一般財団法人山梨県遺族研修会23人; 石川県 3月30日 石川県遺族連合会研修会23人.

党大会 運動方針を示す

自民党 靖国、護国神社参拝を明記 自由民主党は3月17日、東京都内のホテルで、第91回定期大会を開催した。岸田文雄総裁は演説で、深刻な政治不信を招いたことを陳謝し、国民の信頼を回復するため、改革を断行すると決意を語った。令和6年党運動方針としていくつ明記された。

念公園 内に経年劣化、自然災害等で破損した慰霊碑及び台座19基の埋設と埋設記念碑の設置に関する計画を現地政府関係機関に説明し、北マリアナ歴史保存局(HIPCO)、環境省(BECC)、公有地管理局(DPL)、魚類野生生物局(FWS)、都市計画事務所(CZB)等の各関係機関から要求された埋設に必要な許可申請手続きを進め、昨年末にすべての機関から許可を取り付けることができた。

その後、現地の建設業者が埋設作業を委託し、指定された場所への慰霊碑及び台座19基の埋設と埋設記念碑の設置を依頼していたが、今回の派遣で最終的に埋設が完了した。本会は今後も海外に民間団体等が建立した慰霊碑を維持管理状況が「不良」と判定されたものについて可能な限り、整理統合を進めていく。

本会事務局 人事異動

- 本会事務局では、4月1日付で人事異動を発令した。 福社部長 重井 敦 事務部長 小山 孝夫 総務部長 井上 春行 広報室長兼会長秘書(部長職) 細貝 洋子

好業 友事 慰親 慰善

慰霊祭で父に語りかける

マーシャル・ファイリピンで

戦没者遺児による慰霊友好親善事業では、マーシャル諸島、フィリピン2次地域を3月に相次いで実施した。全国から戦没者遺児、青年部等の付添者16人を含め総勢98人が参加し、永年の念願であった亡き父の眠る地で慰霊祭を執り行うとともに、各地においては小学校や病院を訪問し、現地関係者等と友好親善を図った。



亡き父へ積年の思いを語りかける=3月5日、マーシャル諸島・クエゼリンで

マーシャル諸島は3月2日から3月10日、フィリピン2次は3月8日から3月16日の期間で実施し、各訪問団参加者は初日に東京・九段会館テラ

ス及び靖国会館に集合して結団式を行い、靖国神社で慰霊巡拝の奉告と旅の安全を祈願した後、亡き父が眠る縁の地へと出

発した。マーシャル諸島は3日午前、成田空港を出発し経由地のグアム島に到着。翌4日、チューク、ボンベイ、コスラエを経由し、米軍の基地施設となつているクエゼリン環礁のクエゼリン島に歩を印した。

同日、同環礁のルトット島(現ロイ・ナムル島)は2月に高波による水害被災にあい、現在復興作業のため渡島は叶わな

かったが、5日にクエゼリン島で慰霊祭を行い、亡き父へ積年の思いを語りかけた。また被災したルトット島民へ心ばかりの支援物資等を、現地ボランティアを連担した。7日にはマーシャル諸島共和国の首都マジュロからチャーター機で午前

に到着。翌4日、チューク、ボンベイ、コスラエを経由し、米軍の基地施設となつているクエゼリン環礁のクエゼリン島に歩を印した。同日、同環礁のルトット島(現ロイ・ナムル島)は2月に高波による水害被災にあい、現在復興作業のため渡島は叶わな

かったが、5日にクエゼリン島で慰霊祭を行い、亡き父へ積年の思いを語りかけた。また被災したルトット島民へ心ばかりの支援物資等を、現地ボランティアを連担した。7日にはマーシャル諸島共和国の首都マジュロからチャーター機で午前

に到着。翌4日、チューク、ボンベイ、コスラエを経由し、米軍の基地施設となつているクエゼリン環礁のクエゼリン島に歩を印した。同日、同環礁のルトット島(現ロイ・ナムル島)は2月に高波による水害被災にあい、現在復興作業のため渡島は叶わな

かったが、5日にクエゼリン島で慰霊祭を行い、亡き父へ積年の思いを語りかけた。また被災したルトット島民へ心ばかりの支援物資等を、現地ボランティアを連担した。7日にはマーシャル諸島共和国の首都マジュロからチャーター機で午前

者の碑一前にて全戦没者追悼式を厳粛に挙行し、祭壇に献花し、英霊の冥福を祈った。また、マジュロ市内の小学校を訪問し生徒たち

に学用品、衣類、スポンジ用品等を、地元のホテルには生活日用品やソーラーライト等を寄贈するなどして友好親善を図った。

水産部本会長を総括団長とするフィリピン慰霊友好親善訪問団(団員84人、付添者含む)は、C班はルソン島中西部の



サッカーボールなど学用品を小学校に寄贈する水産部本総括団長=3月12日、ミンダナオ島タモガンのマリログ・スアワン小学校で

クラーク、ルソン島北西部のリンガエン湾付近やバギオ市内、ボンドック道の21K、ルソン島東部のサンタフェやパレテ峠で、D班はルソン島北東部のソラヤやキャンラン、パイボグで、E班はネグロス島のシライ山、マングラガン山方面、ミンダナオ島のダバオ海岸やカタルナン、タモガ

ンで、F班はセブ島のセブ観音やタナオ付近、ソゴト付近、レイテ島のイビルやオルモック近郊、マハンラク方面、ピリアバで、G班はレイテ島のブラウエンやドラック付近リアバ、マハンラク方面でそれぞれ慰霊祭を行い、亡き父に積年の思いを語りかけ、冥福を祈った。

今回付添で参加した戦没者の孫の一人は、「父たち戦没者遺児の方々が亡き父と語り合い涙ぐむ姿を目の当たりにして、妻を目的に亡き父への熱い思いが伝わった。この貴重な体験を期に、二度と戦争をしてはいけないことを訴えつつ平和を継承していきたい」と話した。

3月14日、ルソン島グナ州カリヤの「比島戦没者の碑」前で、在フィリピン日本国大使館より花田貴裕公使が参列のもと、全班が一堂に会し全戦没者追悼式を厳粛に

各班で現地の小学校や病院等を訪問し、学用品や車椅子等を寄贈、生徒たちや現地の方々や友好を深め、所期の目的を果たした一行は全員無事に帰国した。

執行し、英霊に感謝と哀悼の誠を捧げた。また夜には同日午後に着任したフィリピン日本国大使館特命全權大使遠藤和也夫妻を招待し、合同懇談会を開催した。

執り行い、団員は亡き父・祖父・叔父へ、それぞれ積年の思いを語りかけた。14日にはカリヤの比島戦没者の碑において、フィリピン慰霊友好親善訪問団と合同の全戦没者追悼式を挙行し、英霊に感謝と追悼の誠を捧げた。

遺児・青年部(付添)参加者募集

令和6年度慰霊友好親善事業

日本遺族会が厚生労働省から補助を受け実施している令和6年度「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」は、戦没者の遺児を対象とし、亡き父等の戦没地周辺を訪れ慰霊追悼を行うとともに、現地の方々との友好親善を深めることを意図として

令和6年度 戦没者遺児による慰霊友好親善事業概要

Table with 4 columns: 実施地域, 実施時期, 募集人員. Lists various regions like 旧ソ連, 旧満州, ボルネオ・マレー半島, etc.

※旧ソ連、旧満州、ミャンマー、中国地域については、実施が難しい状況にあることをご承知お願います。

日本遺族会への賛助金のお礼

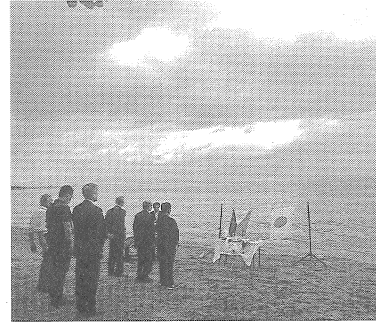
本会の活動に賛同し、賛助金を寄せいただいた左記の方々に対し、心よりお礼申し上げます。なお、賛同者都道府県名については、送金方法により居住地が特定できない場合があります。

ミャンマー小学校修繕募金のお礼

ミャンマー小学校修繕募金に賛同いただいた左記の方々に対し、心よりお礼申し上げます。賛同名 敬称略・カタカナ名は銀行振込、漢

日本遺族会への賛助金のお礼

本会の活動に賛同し、賛助金を寄せいただいた左記の方々に対し、心よりお礼申し上げます。なお、賛同者都道府県名については、送金方法により居住地が特定できない場合があります。



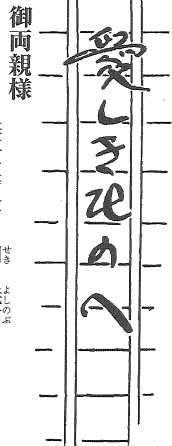
亡き肉親の冥福を祈り慰霊祭を斎行=3月12日、レイテ島・イビル海岸で



# 昭和館開館25周年 各種記念行事を開催

3月27日に開館25周年を迎えた昭和館では同日常設展示室の無料開放や先着250組に粗品を贈呈した。親子連れなど400人余りが来場し華やかな一日となった。これに先立ち3月初旬からは、25周年記念の特別企画展「写真展が開催され多くの来場者で賑わっている。今後も様々な記念事業を準備しており、幅広い世代への広報を図る予定である。

まずは、昭和館開館の経緯から振り返りたい。昭和50年代、青年部(当時「戦没者の遺児」)から国に対し、遺児に対する慰藉を求める機運が高まった。当初、甲斐金・



御両親様

海軍一等兵曹 關 義信  
昭和十九年十一月二日  
富山県水見郡神代村堀田出身 二十三歳

長らく御無音に打ち過ぎ申し訳ありません。その後、御一同様には益々元気に増産報国に精励、頑張つて居られる事と推察致し居ります。小生も相変はず元氣百倍といふ所で、軍務に奮闘致して居る次第です。内地も懐かしき春季の大祭も何時しか過ぎ、今、多忙なる農繁期の頃、さぞ皆様も御苦勞の事、推察致します。我々も益々時局重大なる折、艦の修理も早く完成致し、近日中に完成の見込みです。完成の晩には再び戦線に急ぐ事でございます。(中略)今日は三十九年前我々の先輩諸氏等が、日本海において敵ロシア艦隊を撃滅致した由緒深き記念日であります。此時に我々は一層「決意を堅くして、皇國のために報ゆる覚悟を新たに、一日も早く戦線に出撃する日を楽しみに待つて居る次第です。皆様も健康には十分注意致され、今年も増産報国を目標に頑張つて下さい。本日は久しぶりに一筆申し上げた次第で、悪筆にて御免下さい。後日又便り。

御両親様

義信より

終

【令和六年四月靖国神社頭掲げ  
愛しき日々のへ

る国民が経験した戦中・戦後の国民生活上の労苦を後世代に伝えることを目的に、戦没者遺族に対する援護施策の一環として、各界有識者により「戦没者遺児記念館(仮)」建設の検討が進められた。そして、要望から20年の歳月を経て、名称を「昭和館」とし、平成11年に国立施設として開館、運営は本会へ委託された。平成14年には天皇皇后両陛下(現上皇上皇后陛下)が同館を「視察さ

る国民が経験した戦中・戦後の国民生活上の労苦を後世代に伝えることを目的に、戦没者遺族に対する援護施策の一環として、各界有識者により「戦没者遺児記念館(仮)」建設の検討が進められた。そして、要望から20年の歳月を経て、名称を「昭和館」とし、平成11年に国立施設として開館、運営は本会へ委託された。平成14年には天皇皇后両陛下(現上皇上皇后陛下)が同館を「視察さ



開館記念日に来館した親子に記念品を贈呈する伍藤館長 = 3月27日、昭和館で

れ、戦後70年の平成27年には、皇太后(上)一家(現天皇皇后両陛下、愛子内親王殿下)、秋篠宮(一家)が視察された。開館から25年、総来場者は672万人を超えた。大半となった今日、昭和館の使命は高まっております。戦後80年に向け、一層注目を集めることが予想される。三代目にして初の戦後生まれとなる伍藤忠春館長は、若い世代をはじめ多くの皆様方に、より魅力的な館となるよう運営に努めると述べている。今後は、S・スタンブラー、落語上演会、映画上映会等、多様な企画を準備し、館の認知度をアップを図る予定である。

## 九段短歌

選者 村田 信昌

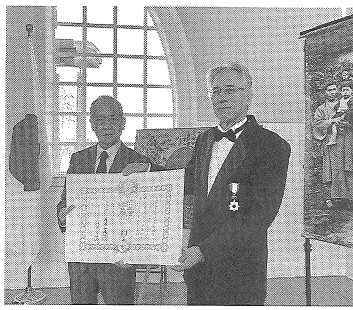
八十年を眠れる戦地と遠い故郷(くに)ふるさとを二つ我が父は持つ  
青森県 田中 恭子  
南国より水欲しと日々詠へし伯父の手紙の絶筆となる  
福島県 柴田 征子  
年重ねニューギニアに眠りし父よ又もり来る七九  
群馬県 須賀 宏江  
年目の春  
押花を桜の花を送ってと北満からの便りの終はりに  
栃木県 西村三三子  
父戦死の公報を握りしむる母を見上げる吾小一の春  
千葉県 石橋 嘉子  
千葉県 石橋 嘉子  
出征の父の見送りも英雄となりて迎へるこの駅なり  
長野県 塩川 篤子

## 沖繩平和祈願慰靈大行進 参加者募集締切迫る

本会は沖縄県遺族連合会と共催で実施する「沖縄平和祈願慰靈大行進」の参加者を募集している。なお全戦域の戦没者遺族が参加対象となる。戦争の悲惨さ、平和の尊さを学ぶ実体験として、特に孫・ひ孫等の多くの青年部に参加を呼びかけ、語り部育成の機会としてもらいたい。参加者募集要項は以下のとおり。  
▼期間 6月22日(土) 24日(月) 2泊3日  
▼費用 4万円~5万円程度。  
※費用には宿泊代、食事代、バス借上げ代、添乗員費用、懇談会費用等が含まれる。  
(参加人数により費用が異なる。また、自宅から沖縄までの往復交通費、那覇空港から集合場所となる那覇市内のホテルまでの往復交通費は個人負担となるので、各自で手配願いたい。  
▼宿泊 那覇市内のホテル。  
▼申込先 在任する各都府県遺族事務局へ。  
▼申込締切 5月9日(木)  
なお、昨年同様、ひめゆりの塔前から平和記念公園までの約4キロを行進予定

## 秋の外国人叙勲受章

戦没者遺留品の返還活動をしているアメリカの非営利団体OBONSオンサエの代表であるレックス・トーマス・ジーク氏が、令和5年秋の外国人叙勲で旭日双光章を受章し、3月15日、オレゴン州アストリアのコンロンピア川海事博物館で在ポートランド領事事務所

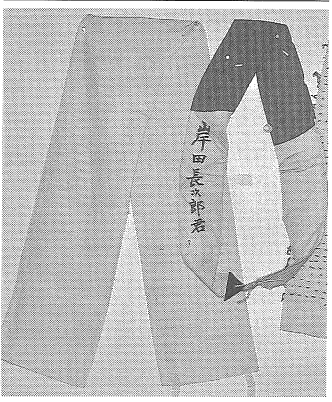


吉岡雄三総領事(左)から勲章を授与されたレックス・ジーク氏 = 3月15日、オレゴン州アストリアで

本会事業 参加者の皆様へ  
本会の事業に参加するに当たり、得た個人情報(個人情報保護法)の定めにより、厳重に扱います。日本遺族会の個人情報保護方針につきましてはホームページを参照されたい。本会にお問い合わせください。

## お詫び

3月発行の第879号で、次の誤りがありましたので、訂正し、深謝いたします。4面「滋賀県で遺留品返還」の記事で掲載した「千人針帯」の写真が違っておりまして、正しくはたすき岸田長次郎君」の左横の写真となります。



岸田長次郎君